



ファミサポ通信

No.18

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

いの★ファミリー・サポート・センター

はっぴい

〒781-2110 吾川郡いの町1400番地 すこやかセンター伊野内 ほけん福祉課

TEL : 088-893-3810 (ほけん福祉課) 080-2982-8108 (ファミサポ専用)

Mail : famisapo@town.ino.lg.jp



活動報告

令和6年4月～11月末までの活動報告をします。
前年と比較すると、たくさんのご利用がありました。
みなさま、ありがとうございました。



会 員 数 169名

●おねがい会員 124名 ●まかせて会員 41名 ●どっちも会員 4名

活動依頼件数 220件

※ちなみに、前年同時期の件数は115件でした。

●送 迎 19件 ●預 かり 84件 ●送迎&預かり 117件

[活 動 例]

- ・放課後児童クラブ終了後のお迎え&お預かり
- ・登園(登校)前のお預かり&登園(登校)の付添い
- ・保育園終了後のお迎え&お預かり
- ・保育園(小学校)がお休みのときのお預かり など

このほかにも・・・

- ・習い事の送迎
 - ・高知市内での預かり
- などの活動がありました。

依頼される内容は、上記の内容が多いです。

利用してくださっている方の中には、シフト制のあるお仕事に従事されている方もおり、そのシフトに合わせてご家族で相談し、お迎えに行ける日・行けない日を割り出し、どうしても行けないときだけファミサポに依頼する・・・というふうに対応されています。

また、ここ数年継続して利用くださっている会員さんもいます。おかげで、今年の活動依頼件数は過去最大件数となりました。ありがとうございます！



第6回ファミサポ交流会を開催します！



親子で英語リトミック体験

🎵 と き 3月9日(日)

🎵 と ころ すこやかセンター伊野 (大会議室、中会議室1・2)

🎵 対 象 町内在住、小学3年生までのお子さんと
その保護者 及び ファミサポ登録会員

🎵 じかん ★第1部 [0才～年中児] 10時00分～ (約45分間)
★第2部 [年長児～小学3年] 11時30分～ (約50分間)

🎵 お申込み方法 お電話でお申込みください。(ほけん福祉課 893-3810)

🎵 ごきょうだいでご希望の方は、第1部または第2部のどちらかをお選びください。

🎵 当日は、動きやすい服装でお越しください。



～英語リトミックとは～

「英語」と「リトミック (音楽)」を組み合わせた学習法で、初めて英語に出会うお子さんも

リトミック (音楽) を通して楽しく英語に触れます。

「英語と音楽を同時に習うことができる！」と人気の習い事のひとつです。



おねがい会員さんへ

小さなお子さまも一緒にどうぞ♪
町内に住むお友達もぜひお誘い
いただき、ご参加ください。

まかせて会員さんへ

ご都合のよい方、参加してお子さ
んたちを見守っていただけません
か？一緒に楽しみましょう。





ご報告

10月1～2日に『保育サービス講習会』を実施しました！

3名の方が受講してくださり、そのうち1名は再受講をしてくださいました。お隣の土佐市からも3名の方が部分受講に来てくださり、少人数ではありましたが和やかな雰囲気で行うことができました。

参加くださったみなさん、受講後に登録してくださった方、ありがとうございました！

2日目の救命救急講習にはお久しぶりの会員さんも加わり賑やかな講習となりました。みなさんそれぞれが気になったことやご自身の体験談などを話してくださり、「こんなときはどうすればよいか」など質問し、積極的に学ぶ姿勢が印象的でした。救命救急講習は一度受けたら終わり、というわけではありません。いざというときに動けるよう繰り返し訓練することが大事だと考えています。

今回受講できなかったまかせて会員さんは、来年度ぜひ受講ください。または、お住いの地区や職場等で訓練がある場合は、積極的に参加し復習することをお勧めします。よろしくお願いいたします。

講習会の様子

ファミサポとは…

(アドバイザー)



ファミサポ事業が始まった経緯や事業のしくみ等の説明をしました。保育園や小学校では補いきれない部分を、地域のサポーター（まかせて会員）が支援するのがファミサポ事業です。

地域主体のこのような活動が子どもの健やかな成長はもちろん、地域の人と親子が会い、その地域で安心して生活できるよう関係を築き上げるきっかけになるのではないかと期待されています。

小児看護と基礎知識等

(保健師)



子どもの生理機能やお世話のこと、また、事故防止と安全対策を学びました。

子どもは身体機能がまだ未熟なので脱水や熱中症になりやすいです。室内でもこまめな水分補給を心掛けましょう。

トイレトレーニングのタイミングは、その子どもによって違います。おしっこやうんちをするためのからだの準備ができてきたら始めてみましょう。

期待しすぎず、ゆったりと見守ってあげましょう。



0歳～14歳の小児の死因上位は「不慮の事故」だそうです。その内訳は、窒息・交通事故・溺水・建物からの転落、となっています。

昨日できなかったことができるようになったことで事故につながることもあるようです。

預かるときは絶対に目を離さないようにしましょう。

口径39mm以下のものは子どもが飲み込んでしまう可能性があります。窒息や誤嚥を防ぐため、実際の大きさを確認しました。



小児科医と保育士・
図書館司書の講習は、
母子推進員養成講座と
合同で実施しました。



子どもの発育と病気

(小児科医)



子どもに多い病気や症状、アレルギーのこと、さらに、小学高学年から出始める『起立性調節障害』についてもお話がありました。今、不登校の40%にこの起立性調節障害が見られるそうで、大きな問題になっているそうです。ストレスを抱えている子どもたちの声を聞いてあげる場所・話しやすい環境を作ってあげることも大事だと話されていました。

また、成長と発育について、すべての子どもが同じように成長していくわけではありません。

例えば、母子手帳や育児本などにある「〇カ月ころに〇〇ができる」と書かれていると、「〇カ月にはできるようにならないかならなければならない」と思い込み、自分の子どもがそのとおりでないと「どこかおかしいのでは？」と過剰に心配し過ぎる傾向があるそうですが、これはひとつの目安であり、多少の個人差はあります。「その子どものペースで成長していくので、ゆっくり見守ってあげましょう。どうしても心配な場合は、遠慮せず小児科医や保健師にご相談くださいね。」とのことでした。



保育の心と子どもの遊び

(保育士) (図書館司書)



昔ながらのわらべうたをみんなで体験しました。五感を通して実体験で遊ぶことが心身に良い刺激を与えるそうです。

育児支援は『相互に学び合い、育ち合う関係』です。「支援をしてあげる」ということではなく、目の前の親子の現実を受けとめ、学び、一緒に歩むことです。そうした活動をすることで、親子が元気に過ごすことができると考えると、支援者の心にも喜びが膨らみ元気が湧いてきます。地域の身近な応援者となり、親子一人ひとりを尊重しながら活動していただければ、とお話いただきました。

また、良かれと思ってしたこと・声を掛けたことが、相手にとっては不快なこともあるかもしれない、ということを心に留めておくことも大切だそうです。

(小児科医・保育士より)

インターネットの普及で情報過多となり、正しい情報を収集することが難しくなっています。迷うときは身近な人に相談してください。親・きょうだい・親戚・友人・地域の人（もちろんファミサポでもOK!）を頼ってくださいね。



子どもの栄養と食生活

(管理栄養士)

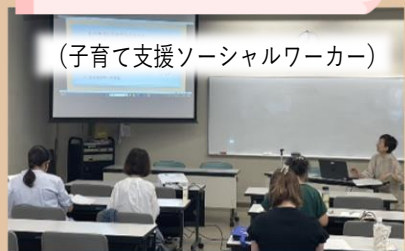


離乳の準備として以前はスプーンで果汁などを飲ませたりしていましたが、血糖値が上昇する恐れがあるため今は与える必要はないそうです。また、生後5〜6ヵ月になってまだ歯が生え始めていないからといって離乳食のスタート時期を遅らせる方がいますが、離乳食を始めることで歯茎が刺激され生え始めることもあるので、6ヵ月を過ぎて食べ物に興味を示したりスプーンを嫌がらなければ始めてみるとよいそうです。

最近はアレルギーのある子どもが増えています。心配し過ぎて卵や小麦粉を全く与えない方がいるそうですが、少量ずつ試してみることが大事、というお話もありました。

心の発達とその問題

(子育て支援ソーシャルワーカー)



人の心は、親や家族、保育者、友達など、人との関係を通して発達します。養育者との関わりを通して愛着を形成し、「自分自身を信頼し大切にする」「親や大切な人を信頼し、大切にする」「自尊心と他者への愛情」を獲得していくそうです。

この愛着とは、特定の個人に対する親密で情緒的きずなを言います。「いつもそばにいてくれてお世話をしてくれる」「泣けば抱っこしてなだめてくれる」「笑いかけてくれる」「何を訴えているか理解して対応してくれる」、こうした対応の中で愛着形成ができていきます。

これは自我の発達にも深く関わっているそうです。

事故防止について



活動前には「どこに・どんな危険があるのか」をあらかじめ想定しておく、何かあったときにスムーズに対応ができると思います。今日はどんな活動をするのか、事前に再確認して備えましょう。

6歳未満は必ず着用

チャイルドシートの着用義務についても再確認しました。
6歳以上であってもシートベルトが首元を圧迫するようであれば、ジュニアシートの着用をご検討ください。



救命救急講習

(仁淀消防組合)



ファミサポの活動だけではなく日常生活でも、もし外出先で事故や災害に遭遇したときは、率先して行動できるようにしておくことが望ましいです。

救急車を要請するときには今いる場所(住所)が必要です。知らない土地で要請するとき、住所を知るにはどうすればよいでしょうか？今はスマホでも現在地を確認できますが、近くにある電柱や自動販売機には住所が明記されているそうなので、覚えておく役立つかも知れません。

119番



ご存知ですか？

「AEDはどこに設置されているの？」



- ・大型商業施設
 - ・コンビニエンスストア
 - ・学校
- などに設置されています。





高知県内 ファミサポ開設状況

県内37市町村のうち、下記の15市町で事業を行っています。
じわじわとファミサポの輪が広がってきました！



高知市	佐川町	香南市	南国市	安芸市
香美市	いの町	須崎市	仁淀川町	四万十市
四万十町	大月町	土佐清水市	土佐市	室戸市



【講習会を終えて・・・】

各専門の講師の講義を聞きながら、地域における子育て支援の重要性について改めて考えさせられました。子育てを取り巻く状況は非常に厳しいもので、核家族化や子育ての孤立化がどんどん進んでいます。そのため地域との関わりが希薄になり、だからこそ子育て世帯と地域の方をつなぐファミサポのような事業が重要なのではないかと感じています。

『育児で困ったことが起きたとき「助けて」と言える相手がいる』

『自分の子どもの成長と一緒に喜んだり心配してくれる人がある』

たとえそれが家族でなくても、このような後ろ盾があると安心して子育てに向き合えると思います。

ファミサポが目指す「地域みんなで子育て」は、その活動を通して『人と人との信頼のつながり』を地域のあちこちに生み出していく活動です。

どの子どもも幸せであるように、そして、親が親であることの幸せを実感できるように、今後も見守り続けたいと思います。

以下、女性労働協会発行「育児サポート 4」より抜粋した言葉を掲載します。

『人は人と関わることで成長し、生きていくものです。周りに困っている人がいたら「力になりたい」という思いになり、少しでも力になれたときはうれしい気持ちになる、これが保育の心の原点であり、皆が持っている心です。』



～ 会 員 の み な さ ま へ お ね が い ～



[おねがい会員さま]

●「どっちも会員」になりませんか？

お子さんが保育園や小学校に行っている間など時間に余裕があるときに、ファミサポの活動をしてみませんか？ご自身の都合に合わせて、できる範囲で結構です。一度ご検討ください。

[まかせて会員さま]

●報酬に対する課税について

毎年2月中旬～3月中旬は確定申告の時期です。ファミサポの活動で得た報酬は、税法上「雑所得」になります。ファミサポの活動以外に給与所得のある方は、年間の合計所得金額が48万円を超えると一般的に課税の対象となり、確定申告が必要です。

ただし、それぞれの所得状況によって違いますので、詳しくお知りになりたい方は国税庁またはお近くの税務署でご確認ください。

●12月分活動報告書の提出について

みなさんがサポートしてくださった活動件数を3ヵ月ごとに高知県へ報告しています。次回の報告〆切日が1月中旬となっていますので、12月に活動してくださった方は1月10日(金)までにセンターへご提出いただくようお願いします。

■登録内容に変更がある方はご連絡ください

住所変更された方、ご家族が増えました・・・等あれば、ご連絡をお願いします。

■LINEお友達登録をお願いします

活動依頼のご相談や事前打ち合わせの日程調整等、会員さんとの連絡はLINEを利用しています。

よろしければお友達登録をお願いします。

L I N E I D → famisapo520100

Q R コード▶



昨年もファミサポ事業にご協力いただき、誠にありがとうございました。

みなさんにとって昨年はどのような一年だったでしょうか。ファミサポでは、久しぶりに『保育サービス講習会』を実施することができてホッとしています。また、今年3月には交流会を予定しています。子育てを頑張っているみなさん、子育て支援にご尽力くださっている地域のみなさんと一緒に楽しい時間を共有できればと思っています。

これからも、住み慣れた地域で安心して子育てができるよう、みなさんのお力添えをいただきながら取り組んでいきたいと思います。令和7年もどうぞよろしくお願いいたします。

